



外務省 ODA 広報キャラクター ©DLE ODAマン

教えて！外務省！

知っておきたい国際協力 Vol.22

日本のODA（政府開発援助）や外交などの情報を国民に向けて発信している外務省のさまざまな広報活動について紹介します。

今月のテーマ ODAなどの広報活動



大臣官房国内広報室は日本の外交政策などに関する国内における広報を、国際協力局政策課の広報班はODA全般に関する国内および海外における広報を担当している。

答えてくれた人
左から
外務省大臣官房国内広報室
廣嶋絵梨さん
Hiroshima Eri
外務省国際協力局政策課
石原美美香さん
Ishihara Fumika
荒井幸奈さん
Arai Yukina

Q ODAについて、外務省はどんな広報活動を行っているの？

A ODAのウェブサイト、アニメなどのコンテンツ制作や国内最大級の国際協力イベントを開催しています。

日本のODAは、途上国を含む世界の平和と繁栄に貢献することに加え、日本の国益を確保するうえでも重要な取組であり、大きな意義があります。それと同時に公的資金を原資としているODAだからこそ、国民のみならず理解と支持を得ることも不可欠です。

そのために外務省では、ODAに特化したウェブサイト、アニメ、ドキュメンタリー動画などのコンテンツの制作、月1回のODAMメールマガジンの発行、SNSでの情報発信などを行っています。また、「ODA出前講座」として、外務省の職員が学校に赴いて講座を開催しています。ふだんあまりODAと接点のない若者や地方に住む方にも情報が届くように工夫しながら、さまざまな入り口を通じて広報活動に取り組んでいます。

ほかにも、毎年10月6日の「国際協力の日」の前後に開催される、国内最大級の国際協力イベント「グローバルフェスタJAPAN」にも力を入れています。今年は9月28日と29日に開催し、NGO/NPO、大使館、国際機関などのブース出展のほか、多様なステージプログラムが実施されました。たとえば、1日目に

われた「共に創る、ODA！オファー型協力ってなあに？ODAMステージ」は、「オファー型協力*1」について外務省のODA広報キャラクターであるODAMマンがわかりやすく解説。「オファー型協力」は、2023年6月に改定された開発協力の指針を示す「開発協力大綱」の実施面の新しい取組として強化を掲げているもので、ふだんの生活の中では理解しづらいこの政策をわかりやすく紹介しました。

今年で33回目を迎えた本イベントは、国際協力70周年を記念し、これまでよりも会場規模を拡大して開催。リアルとオンラインを合わせて2日間で推計約7万4,000人にご来場・ご視聴いただきました。「グローバルフェスタJAPAN2024」の特設サイトでは、各ステージプログラムのアーカイブ動画を2024年度末まで配信しています。見逃した方もぜひご覧ください。



「グローバルフェスタJAPAN2024」当日の会場の様子。

*1 日本の強みを生かしつつ、開発協力目標や開発シナリオ、協力メニューを積極的に提案し、相手国とともに創り上げていくODAの新しい取組。



国際協力70周年を記念して作られたロゴ。2024年はさまざまな記念事業が実施されている。



「キッズ外務省」のトップページ。左ナビゲートしてくれる。



今夏に行われた「子ども霞が関見学デー」の一場面。参加者からは、「ODAについて詳しく知ることができ、親子で国際協力について考えるきっかけになった」などの感想が寄せられた。

Q 「キッズ外務省」とは？

A 外務省や外交政策、世界の国々について、「知る」、「調べる」、「遊ぶ」ことができるウェブサイトです。

「ODAってなんだろう？」「なぜ日本は途上国に協力するの？」と思ったことはありませんか？ そんな疑問に答えてくれるのが、外務省ホームページ内にあるウェブサイト「キッズ外務省」です。サイトではうさぎのキャラクター「☆ラビット」が登場し、一緒に楽しく学ぶことができます。

「キッズ外務省」では、「もっと知りたい外務省」や「世界いろいろ雑学ランキング」「国旗クイズ」をはじめ、さまざまなコンテンツを用意。小・中学生でも理解しやすいようにクイズやイラストを活用し、外務省の仕事や取組、各国の情報、国際問題などについて、楽

しく紹介しています。自身の学習のために活用される方はもちろんのこと、お子さんに説明するために、親御さんが利用されるケースもあるそうです。コンテンツは随時内容を更新していますので、ぜひ繰り返し訪れてみてください。

日本の外交政策を進めるうえでも、国民の理解と支持はODAの考え方と同様に欠かせないものです。この思いのもと、国内広報室では「キッズ外務省」を通じた情報発信のほかにも、高校や大学、国際交流団体、地方自治体における外交政策や国際情勢に関する講座の実施、小中高生を対象とした外務省訪問

プログラムの実施、パンフレット、外交専門誌といった制作物の発行なども手がけています。また、今夏に開催した「子ども霞が関見学デー*2」では、国際協力70周年を記念して日本の開発協力についての講演などを行いました。

子どもや若者に外交や世界への興味・関心を高めてもらうため、彼らの「もっと知りたい」を応援するため、これからもさまざまな形で広報活動を充実させていきます！



「キッズ外務省」について
「キッズ外務省」については、外務省のウェブサイト（左のQRコード）をご確認ください。

Q 国際協力70周年に関する行事はどんなものがあるの？

A これまでさまざまな記念行事を行い、12月には「国際協力70周年記念シンポジウム」を開催します。

1954年10月6日、日本はコロンボ・プラン*3への加盟を閣議決定し、開発途上国に対するODAを開始しました。それから70年が経ち、国際社会の責任あるメンバーとしてODAに取り組む日本は、世界の各国・地域のさまざまな課題解決に貢献しており、日本での生活の安全・安心を築くうえでも大きな役割を果たしています。さらに、ODAの長い歴史の積み重ねを通じて日本が培ってきた信頼は、とても厚いものです。世界中から届いている多くの信頼の声は、日本の外交力の源泉とな

る重要な資産になっています。こうしたODAの意義をみなさまに知ってもらい、身近な自分事として感じてもらうきっかけになるように、外務省とJICAは記念事業として2024年3月に「国際協力70周年キックオフイベントin Kobe」、5月に「国際協力ミライ会議」、9月に前述した「グローバルフェスタJAPAN2024」を実施し、多くの方々にご参加いただきました。直近だと12月17日に「国際協力70周年記念シンポジウム」の開催を予定しています。加えて、「鷹の爪団の行

け！ODAM」の動画では「国際協力70周年の巻」や「日本とトルコ100年の歩みの巻」など3作品を2024年度中に公開予定です（一部公開済み）。海外やODAにもとから関心がある人も、そうでない人も、多種多様なイベントやコンテンツを自身のライフスタイルに合わせて活用してもらえたらうれしいです。



日本のODAについて
ODAコンテンツなどの詳細や関連情報については、外務省のウェブサイト（左のQRコード）をご確認ください。

*3 1950年に提唱されたアジア太平洋地域の国々の経済や社会の発展を支援する国際機関。